

多田誠司 alto sax, flute  
 菊池太光 piano  
 井上陽介 contrabass

2019 09月21日(土)

開場 13:00  
 開演 13:30~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3700円+2drinks order

CAFE BEULMANS  
 03-3484-0047  
 info.cafebeulmans@gmail.com  
 東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
 必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
 ご記載ください。



## 菊池太光

1985年生まれ。小学校からクラシックピアノを習いはじめ高校まで続ける。高校2年のおわりに友人から勧められて聴いたオスカーピーターソンのCDに感動し、ジャズピアニストを志す。

現在はSK4、菅原高志PEACE、伊藤勇司カルテット、西川直人トリオ、自己のトリオ、その他多くのセッションで活動中。これまでの主な共演者は、岡崎好朗、佐藤洋祐、山口真文、川嶋哲郎、多田誠司、中村健吾、楠井五月、原大力、菅原高志、西川直人等。

## 多田誠司

1960年、香川県高松市生まれ。香川大学付属高松中学、高松高校を通じて吹奏楽部でFluteおよび指揮者を担当する。岡山大学入学と同時にJAZZ研究会に入部。20才の時AltoSaxに転向する。大学卒業後、1988年上京。都内ライブハウスで活動を開始する。1994年10月にはドラムの猪俣猛氏の『Japan Just Jazz All Stars』の一員として国際交流金主催のメキシコ公演に参加、大成功を収める。1996年3月には大西順子(P)QUINTETの一員としてBLUENOTE東京・福岡・大阪の3週間にわたるツアーに参加。Marcus Belgrave(Tp),Rodney Whitaker(B)らと共演し交流を深める。また1997年5月にもJAZZWORKSHOPの一員として二年連続でBLUENOTE公演に参加。さらに高い評価を得る。1997年6月、待望の初リーダー作『THE GIG』を東芝EMIより発売。SWINGJOURNAL誌主催、97年度「日本ジャズ賞」部門で第三位に入るなど、各方面より絶賛される。98年4月には来日中のBranfordMarsalisがこのアルバムを絶賛し、BLUENOTE東京にて共演するチャンスにも恵まれた。また世界的トランペッター日野皓正に認められ1999年から2009年まで彼のグループにレギュラーメンバーとして参加。2005,2009年には佐藤允彦SAIFAの一員として欧州ツアーに参加するなど海外でも数多く活動する。現在リーダーバンドとしてOakly, Taurus, PhoneBone, スガダイローとのデュオ、松本茜とのデュオ、等。

## 井上陽介

1964年7月16日、大阪生まれ。大阪音楽大学作曲科卒。91年よりニューヨークを拠点に活動。97年には初リーダーアルバム「スピークアップ」を発表をリリース。在米中、ドンフリードマン、ハンク・ジョーンズなどの数々のグループでのレコーディングやライブハウスやヨーロッパツアーでの演奏など国際的に活動。2004年には活動の拠点を日本に移す。2017年の「Good Time Again」まで8枚のアルバムをリリース。2019年1月に武本和大(P)濱田省吾(Ds)とレコーディングした9枚目の新しいアルバム「New Stories」をリリース。なお2007年度から3年連続スイングジャーナルの人気投票では1位など常に上位にランクされる。現在、自己のグループ他、塩谷哲トリオ、大西順子、渡辺香津美のレギュラーメンバーとして活動の他、数々のセッションに参加し日本のみならず海外でも精力的に活動。ジャズのみならず絢香、佐藤竹善、Superfly、JUJUなどのポップスのサポートでも活動。